令和2年度 第1回広尾町総合教育会議議事録

- 1 日 時 令和2年4月17日（金）
午後3時～3時48分
- 2 場 所 コミセン第1会議室
- 3 構成員の出欠席 出席 村瀬町長、菅原教育長
中村委員、武藤委員、大森委員、石山委員

欠席
- 4 出席した職員 副町長（総務課長事務取扱）
管理課長、社会教育課長、管理課長補佐、学校教育係長
【校長会議】広尾小学校長、豊似小学校長、広尾中学校長
- 5 開 会
- 6 議 事

管理課長(15:00)

- ＞ それでは、これより令和2年度第1回広尾町総合教育会議を開催いたします。
- ＞ はじめに、町長からご挨拶をお願いいたします。

町長

＞ ご苦労様です。大変お忙しい中お集まりをいただきましてありがとうございます。今年度に入って最初の広尾町総合教育会議であります。今回の案件といたしましては、昨日、緊急事態宣言が全国の都道府県に発令されたところでありまして、特に北海道においては特定警戒に指定をされたところでもあります。このことを受けての今日の会議でありますけども、これまで新型コロナウイルス感染防止に教育現場で大変ご苦労いただいているところでありまして心から関係者に敬意を表したいと思っております。引き続き緊急的な事態が継続しておりますので、しっかりと次の段階の対策について協議をすすめたいと思っておりますのでよろしくお願いを申し上げます。

管理課長

＞ それでは、これ以降、総合教育会議運営指針第4条に基づき、町長の議事進行となっております。よろしくお願いいたします。

町長

＞ それでは会議を進めたいと思いますが、恒例にならしまして教育長の進行でよろしいでしょうか。（各委員「はい」） それでは教育長よろしくお願いいたします。

教育長

＞ はい、それでは進めさせていただきます。本日、総合教育会議、併せてですね校長会議も合同でご案内差し上げたところでございます。よろしくお願いいたします。町長からお話がありましたように新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づいて緊急事態宣言が発令されまして、昨日全国の都道府県に地域が拡大したということでございまして、北海道においては拡大警戒地域という形で指定をされました。それを踏まえて知事から道教委に対して学校の休業の要請がありまして、今日午前中に全道の教育長会議が招集されまして、テレビ会議方式でしたけれど、帯広まで行ってきました。議案の1頁目をご覧いただきたいと思えます。今日のテレビ会議の内容についてですけど、まあこれをお配りすれば集めなくても良かったんじゃないかというぐらいの内容なんですけど、記の下1から6番目までございます。これをただ読み上げただけの話ですけども、簡単に私のほうから読み上げたいと思えます。まず道教委として知事の要請を受けて4月20日から5月6日まで学校を臨時休業するといったしました。休業中の対応に関する通知等の準備が整わない場合においては4月20日に限って分散登校を行っても良いというものであります。2番目の休業期間中の家庭学習等についてですけども、これについてはテレビ教材等の活用を大いにしていきたいということで、本日ですね道教委のほうからその内容について通知があるということでございました。それから学校再開に向けての分散登校等の対応についてですね、たぶん来週に通知があると思うんですけど、別途通知をしたいということでありました。3番目なんですけど臨時休業中ですけど感染リスクを高めないように不要不急の外出は出来るだけ控えていただきたいということであります。基本的には自宅で過ごすというようにしていただきたいとのことでした。それから、いじめ等の問題、心の不安等については24時間無料で相談できる「子ども相談支援センター」を活用するように周知をしていただきたいとのことです。4番目、児童・生徒や保護者の要望について必要があれば来校相談、家庭訪問も実施してくださいということです。それから5番目、各学校においては引き続き「健康観察シート」を活用してくださいとのことです。それから教職員については、在宅勤務、時間差出勤等を適切に活用して、これは積極的に活用してくださいという要望がございました。ここまでが道教委から説明のあった内容でございます。その後ですね、全道の教育長から質疑等、意見等もありました。まず、社会教育施設の関係ですけど、道立の施設についてはすべて休館するとい

うことにするということでした。市町村の社会教育施設、体育施設については今後何らかの通知が道教委からある。今回は自粛ではなくて休館をしていただくような内容になるのかなというふうな説明がありました。それから保育所、学童についてはですね、前回と同様の取扱いで構わないということでもあります。今回の分散登校なんですけれど、前回は60分以内という限られた時間でありましたけれど、今回は時間の制約はございません。ございませんけども、給食は止めますので、フルスペックでの授業は無理だろうということで、2、3時間程度なのかなと私は考えております。来週に細かい分散登校の通知が来るんですけど、テレビ会議が終わった後に十勝の教育長と情報交換した中では一斉登校させて空き教室等があるのであれば20人単位で分けて授業をやっても構わないんじゃないかという意見が出され、それもアリだねということでありました。一斉登校させて1つの教室20人というやり方もアリかなということです。これは今後、学校単位で考えていただきたいと思えますし、恐らく今日持ち帰ってですね、職員会議等におろすんだろうと思えますので、休業はやる。分散登校も市町村の判断に任せるということです。ですからやってもやらなくてもいいということでもありますので、その辺は各学校で職員と相談していただきたいなというふうに考えております。それとですね、社会教育施設の関係だったんですけど、今、石狩が全校止まっていますので、例えば少年団活動とかですね他の町の空いている施設を見つけてですね、そこに出かけて行くっていうケースがあるみたいなんです、要するに石狩からこれは伊達の教育長の話だったんですけど、うちに来るんだよね、これはちょっと困るんだよねって、これは指導者も含めてですね道教委からそれなりの指針を示してほしいなという意見もございました。それからですね分散登校に関しましてちょっと前後しますけど、今回は授業時数に入れても構わないということなんですけど、最後ですね道教委としてはこの休業中1回程度というふうに考えているということで、道教委の通知どおり休業するということをお願いをしたいということでもあります。それから2頁目については参考なんですけど、4月14日に来た通知文でありまして、これは各学校にも流しておりますし4月15日に臨時校長会議を開催してこの件について話し合ったところであります。要は1番、2番とありますけど、1学期、夏休みまでの期間と考えるとまあいいんですけど、体育的な行事、文化的な行事については当面実施を見合わせてほしいということでもあります。遠足に関しては実施してもいいよとのことになってますけど、まあここに書いてある通りなので小規模校だからできるとかそういうことではなくて、広尾町は3校しかないんですけど各学校とバランスを取りながらその辺は考えて実施していただきたいと前回お願いをしたところであります。私からは以上でございます。

＞ この件に関して質問等がありましたら発言をお願いします。

大森委員

＞ 今日の会議はどのような内容の話をされるのかなと思って来たんですけど、道教委からこのような話がありましたと、広尾町としてはどのようにしたらいいのか、今まで、前回休校

になった際にいろんなことを経験されたと思うんですけど、それを踏まえて前回はどうかだったのかということをお聞きして、今回はどうしていったらいいのかと色々な考えを皆さんと考えていければと思っていたのですがそういうところまで今回お話ししても大丈夫ですか。

教育長

＞ どうぞ。あの、基本的にですね、あくまでも休業の要請ですから判断としては教育委員会に考え方は委ねるといことなんですけど、休業につきましては全道一斉で今日の教育長会議でもやる方向で意見がまとまっていたので、広尾町としてもですねこの会議の場でですね意思決定をまずしてほしいということです。私個人的には休業はすべきかなと思っていますけど委員さんの意見をまずお聞きしたいと思います。それをもって広尾町の教育委員会も休校するんだとという意思決定をしたいというふうに考えています。

＞ 広尾町教育委員会として4月20日から5月6日まで小・中学校臨時休業ということでしょうか。

中村委員

＞ よろしいですね。（各委員「はい」）

教育長

＞ ありがとうございます。委員さんから意見がありましたらどうぞ。

＞ 今日は校長先生方も来ていますので前回どういう状況だったかも遠慮なく聞いてもらって構いませんので。

大森委員

＞ よろしいですか。前回経験されたと思いますので具体的にどういうことをされたかというのと、その時に感じた課題をまずは洗い出して、今回どういうふうにしていったらいいのか私たちが考える基になると思いますので是非お聞かせいただこうかなと思います。

広尾小学校長

＞ 広尾小学校からでよろしいですか。前回は2月27日からまずは1週間ということでありましたので学校のほうも1週間後には再開できるだろうとの見通しで対応していたんですが、3月末までというか春休みまでということになりました。ちょうど学年が最後のまとめの時期だったものですから学習録に対応しなければということで学習教材等を郵送してですね、当初は家庭訪問をしないようにということだったので郵送をさせていただいたところです。分散登校につきましては、1から5年生については週1回ずつで2回、6年生については週1回ずつで最後の卒業証書授与を含めて3回という対応でした。感染リスクをしっかりと

う指導がありましたので体育館で2メートル以上子どもたちが机を離しての対応ということで、時間も60分以内ということだったので45分の授業の中で対応したものです。前回は授業等をしないでということで、健康状態等家庭生活の確認ということで職員も確認して行ったところです。玄関で消毒それから検温をしてですね子どもたちが近くにならないよというということで間隔をあけて体育館に行くということで、始めと終わりには換気と消毒ということで学年が変わるごとに指導等対応をしたところです。やっぱりそうした中で子どもたちも状況がわかっていたのかしかりと言うことを聞いて対応してくれました。先生方とか親の雰囲気とか感じていたのかなと思います。そういうことでは予防の対策をしっかりとりながらというところでは職員と確認を取りながらやっているというところではあります。

大森委員

〉 学習教材についてはどうだったでしょうか。

広尾小学校長

〉 宿題等の家庭のですね。学年の発達段階に合わせてやってもらってですね、分散登校の時にわからないところとか質問に答えるなどしながら進めていたということと、分散登校の時にその後の課題についても出して対応しています。このようなところです。

大森委員

〉 ありがとうございます。

豊似小学校長

〉 豊似小学校です。ベースとしては個別交渉ということでやらせていただいたんですけども、いくらか人数が少ない関係で授業の積み残しの部分の指示をするための分散登校日には時間をいただきました。新たな部分を自分で自習するというのは小学生には難しいので、基本的には昨年度の復習という形だったんですけども、この4月に入ってから小学校の時数という部分もあるので、その部分をしっかりとフォローするという形でやってまいりました。前回の反省点としては生活の作り方であったり、勉強の進め方であったり、その部分に対するフォローがなし得なかったなという話がありましたので、今回も十分あり得るだろうといくらか考えていましたので、その対策をしようとした矢先の今回のことでした。本日も昨日にいくらか情報が入りましたので、休みに入った時の生活のリズムをいかにするのかということをして1時間急遽時間を取りまして、以前長期休業中にやっていたような何時に起きて、何時から何時まで勉強するという形の生活のリズムを考えるというところをやりました。それから、昨日から今日にかけての時間があつたので1週間程度の教材をインターネットの教材を人数分今日までに刷って渡したところです。この2週間の中で子どもたちが十分生活を整え、学習を行える形のを前回の反省を生かしてやっているつもりです。教材と

しては少ないですので1週間後には更に追加のものを考えていますし、本日PTA会長と連絡をとって、農業地域ですので朝8時半には農協に集まる親御さんが多いということで今後そういう親御さんとのやりとりの中で学校に教材等を取りに来ていただきたいというところも模索しているところです。子どもたちの健康と学習、生活がみだれないようにその辺をこの機会を逆に生かしながら育てながらやっていきたいなと思っております。もう1点ちょっと反省点としては東京都でやっているインターネットを通じての学習指導ということで、ちょうど来週の頭に各家庭のインターネット環境を調べようとアンケートを作っていたんですけどもう少しで間に合いませんでした。親御さんの情報では7割、8割方はすでにADSLの環境がありますのでその辺のさらに今後のインターネットを通じての情報教育ということが出来る環境の確認ということをしなければならないかなと考えています。以上です。

大森委員

〉ありがとうございました。

広尾中学校長

〉中学校です。前回はずいぶん、2月27日の北海道知事の要請による臨時休校から全校一斉の臨時休校となったんですけど、きちんとした指導ができないまま1か月近くの休みに入ってしまったということになってしまい、かなり苦労して指示をしました。1回目の分散登校の時には健康観察と学習の進捗状況などの確認をしました。課題の内容等難しい子もいるかなと思いました。2回目の分散登校の時には体育館に子どもたちを集めたうえで学習を進める方法なんかについて先生のほうから説明をしてもらって繋げていったという形でございます。1、2年生はそのような形で分散登校を行って、3年生については卒業証書を授与するという形での分散登校のみしかできていなかったということになります。その時には60分の縛りがあったものですから内容もかなり精査したものしかできなかったということで、4月に入ってからはですねいつそういうのが来るのかわからないということがありましたので、先生方もですね授業を積極的に進めていって子どもたちがもしそういうふうになったとしますと、いろいろ進められるようにやっていこうと話していた矢先にこういうことになってしまったという形になります。ただうちの学校はですね、パワーアップノートというのがあって、自学、自分で学習を進めるのを推奨してそれを進めているノートというのがあります。それをですね前回のときにも子どもたちのほうに指示を出しながらやっていたのですが、今回については1年生についてはまだほとんど授業が進んでいないということで中学校としての学習を進める分については非常に薄いということがあるので、昨日この情報が入ってから先生方ですね、とにかく金曜日で生徒を帰すまでに課題を出さなきゃということで昨日はかなり遅くまで残ってですね課題づくりをしてくれたということで、かなりの課題を用意して今日は持ち帰らせることができたかなと思っています。そこが間に合わなかった部分については来週23日に郵送をかけてですね、子どもたちのほうにいろんな指示の

文書や課題をご家庭のほうに届けるというような今の計画になっています。

大森委員

〉ありがとうございました。

〉広尾中学校の生徒さんの生活状況ですとかは休校中もそういうのは大体把握しているんですか。

広尾中学校長

〉やはりですね生活が乱れている生徒が何人か見受けられているなという、ゲームをする時間が長くなっているという報告も聞いています。それを含めて分散登校のときに指導してはいるのですが、やはり1人になってしまうと自分でそういうコントロールがなかなかできなかったということも悩みです。

大森委員

〉ありがとうございます。もう少し細かく、反省点というか気になるなという部分もあるんですけど、もうちょっとこういうことをしましたということだけではなくて、その結果こういう問題点がありましたというように問題点が沢山あったほうが次に進みやすいのかなと思っています。もう少し具体的にどういうところが問題でそれをどうしたらよいのでしょうかというのをみんなで考えていければいいのかなと思います。いま学習指導の方法でネットに非常にいろいろないいのがあるんだなって、教材ですごくいいのがあるんだなって思うんですが、やはりあの、町の中と違ましてとくに農村部ではネット環境がないということがありまして公平な指導ができないというところがありますので、じゃあそういう場合には全体的にはどういうふうにしていったらいいのかとか、今後またこのようなことが世の中でおきた場合、やはり田舎だからできないんだよというわけにはいかないのでは是非そういう方向で先生方で何とかやっていきたいと言いつけていかなければいけないのかと、すぐにはならなくても本当に困るということと言いつけていかなければいけないのかなと思います。話は戻るんですけどネット環境の無い子どもたちにはどういうふうにしたらいいのかとか、そういう具体的なところを先生方に考えていただきたいなと思います。

教育長

〉今、国ですね。パソコンを1人に1台、それがタブレットがいいのかどうかはOSの関係もありますのであれなんですけど、そういうようなことを考えていると、で、実際に早いうちに始めなさいということなんですけれど、今各メーカーの工場が止まっている中で物が作れるのかってことがね、この前の校長会議の中でも話があったんですけど、その辺も含めてですねこの先どのようにするのか、これは十勝管内全体でですね考えていることでありま

すので、子どもたちにいいような形で対策を講じたいと思っています。

中村委員

〉今ねこういうコロナの関係、こんな状態になるのは初めてなんですよ。今までなかったことが無いんですよ、ですから学校にああすれとか言ってもね戸惑っているかと思うんですよ。ですからこれからどうしたらいいかとかあります。ありますけどね、暗中模索をしているかと思えます。これも経験です。ですからいろいろといいことを探し出してやっていくことが大事じゃないかと思っています。何しろ初めてのことなんですよ、こういうことは。これからあってほしくはないですけど。そういう気持ちです。

教育長

〉町長から何かありますか。

町長

〉子どもたちの休校している間の家庭環境の確認だとか報告だとかどういった形なんでしょうか。

広尾小学校長

〉当校では電話等で連絡をとりながら担任のほうで対応をしていきたいと考えております。

町長

〉毎日では当然できませんから、何日おきかで全員には電話で確認を親御さんに、子どもを含めてですか。

広尾小学校長

〉はい、そうですね。

町長

〉自由にしているでしょうから家で、何をやってるかね、時間割を決めてやっているんですよ。

〉結構なボリュームなんですか宿題って。

豊似小学校長

〉1週間、昨日刷ったのは各学年10枚ずつなんですけども、国語と算数のプリントを1日に1枚ずつ程度出したんですけども、それだけでは足りないので広尾町の研究所で出している学習の手引きがあるのでそれも刷ってさらに自己学習で使うよう指示しました。量的には

1週間程度分はあるかと思います。

町長

〉1日1時間くらいやれば終わっちゃうんですか。

豊似小学校長

〉自学自習は本人に任せられますので何ページもやれば終わると思いますけど。

町長

〉それで通常のカバーはできませんよね。

豊似小学校長

〉新しいところの把握、新しいところを自分でどんどん進めていくということは厳しいかなと思います。こういう機会に出来るのはせめて今までやっていたものを復習する部分になるかと思います。

大森委員

〉そうすると確実にするということには応用問題が入ってくるんですね、それとあと科目によろと思うんですけど数多く、量を増やしていくことが必要な場合もそれぞれの科目で変わろと思うんですけど、もうすでに学校で出された教材が終わったって話も聞きますのでそのあたりをお子さんによって違うとは思わんですけど量とか質とかどうでしょうね、その当たり各家庭のお子さんと、できれば、不公平になりますか。子どもによって追加をすろとかというのは、あと問題もそのお子さんの進路に合わせて問題を変えたりとか増やしたりとか、もう一歩先違う教材を提供すろとかということが出来ますか。

広尾中学校長

〉中学校も昨日から作っていただいて、最終的に量がどうなのかは私も確認はしていないんですけど、作っている先生方もどこを苦労しているのかと言いますと例えば数学ですと小学校時代の授業内容の復習をさせながら、補助の先生がついてですね。でやっろついていっている生徒とどんどん自分で発展問題を解いていって難しい問題をやっているという生徒と混在している教室の中で同じ課題を渡している。その中で担任らが大変な中で対応している状況ですので、それをさらに1人1人に合わせてということだともろすごい沢山の種類の問題を、しかも沢山作らなければならぬので結構厳しい状態です。

大森委員

〉物理的にやっぱり難しいということですね。

広尾中学校長

〉そうですね。

大森委員

〉1人1人ではなくても進路は大体大きく分けられると思うんですけど、まったく同じ教材を出して休校期間中これをやりなさいっていう感じで進めるつもりですか。

広尾中学校長

〉休校中に渡すものについては、基本的に復習を中学校の場合は中心に作っていますが、それでも生徒の中にはもう一回先生に質問をしながら進めなければいけないという場合がありますので、そういう子たちがある程度上に合わせてしまうとお手上げ状態になってしまう、そうならないようにわかる問題も入れていかなければならない。進めてしまうとそういう子どもたちが遅れてしまうのでそういうことも考えなければいけない。先に進む子についてはパワーアップノートでの学習に力を入れてもらうようにしながら進めていきたい。

大森委員

〉パワーアップノートについてちょっと教えていただきたいんですけど、どういう内容なんですか。

広尾中学校長

〉基本的に自分の振り返りの内容ということを基準に作っていて、前の授業でこういうことをやったからその振り返りをしたり、自分で課題を作ってやってみたりだとかそのようなことをやっております。

大森委員

〉そのパワーアップノートを作って、全員パワーアップノートは持って行っているのですね。

広尾中学校長

〉教育の内容には差ができますけども、それぞれが今これをやらなきゃと思った部分をやっているということになります。

大森委員

〉休校中にそのパワーアップノートがどのくらい活用されているかの確認は分散登校の時にやっているのですか。

広尾中学校長

〉はい、やっています。

〉今回についてもたぶん、分散登校の指示が来週出てくるとのことだったので、来週であれば23日、24日の2日で何とか全学級を集めてその中で家庭学習の中身も聞きながら、今回の分散登校については授業をやってもいいということなので、どの授業をやるかはこれから話し合っただけで決めなくてはならないのですが必要な授業を入れてやっていきたいと思います。

大森委員

〉先生方が自ら作っている問題以外にネットでの学習ができるとかの情報は先生方は把握していますか。

広尾中学校長

〉今回、教育委員会からeラーニングというのがあるということで、登録する方法を教えてくださいました。千歳の科学技術大学が行っているeラーニングシステムというのをやろうという話になって、そのアカウントをとって対策をとろうとしていた矢先に休校ということになってしまったので子どもたちにアカウントを渡してはいないんですが、そういう情報を集めて対策をとっていたところです。

大森委員

〉すでにそれはネット環境で利用できる家庭がどれくらいあってとかというのは確認していますか。

広尾中学校長

〉そこまではまだできていないです。この話をし始めたところですね。

大森委員

〉じゃあこれからですね。

広尾中学校長

〉はい、これからになります。

大森委員

〉それによってどういうことができるかですね。

管理課長

〉ちょっと補足よろしいですか。先ほど言ったギガスクールの関係でですね教育長からも説

明があったんですけど、タブレットを今年度で前倒しで全部入れなさいと、今会社は動いていないんですけど、補助事業の中の1つでですね、町長も先ほど言われてましたがネット環境が無い家庭はどうするんだという話をしていた矢先にポケットワイファイというのが置くだけでワイファイ環境が整うというもので、これもちょっと限定的なんですけど年収400万円未満の家庭に対して1万円を上限にして助成をするという補助制度が今回の通知で一緒に流れてきました。それはやはりその皆さんやっぱり思っていることは同じでネット環境が整っていないところはどうかというところを国も考えてそういう補助申請のほうを補助の在り方というのを国からの通知で出されています。いま校長先生が言われたeラーニングシステム、こちらのほうネット環境でですね、いま大森委員が言われたような形で教科書に準じた様な内容でですね、それと問題もですね、むずかしい、ふつう、やさしいという問題が出せるというシステムであります。この前の校長会議で各校に配付いたしましたのでそれぞれ順番に子どもたちがネットに入っていけるアカウントのほうを振っていただけるものと思っておりますので、そういった部分で対応可能な家庭は対応していけるように、先ほど言われた問題のむずかしい、ふつう、やさしいにも対応できて、教科書と同じ内容になりますのでそちらのほうたまたま先週話していたところこういう状況になってしまったということで、まさしく今急いで各学校で取り組んでいただいているところであります。

大森委員

〉 ありがとうございます。

教育長

〉 副町長のほうから何かありますか。

副町長

〉 ないです。

教育長

〉 社会教育から何かありますか。

社会教育課長

〉 特にありません。

教育長

〉 ほかに意見のある方は。

町長

〉休校の目的というのは感染防止、これにあるわけで第一義的には、あと子どもたちの生活環境をどうやって、学習も含めてもねあるわけですから、まあ前回感染防止、基本的には自宅で外出しないというのは基本なんだけども前回その辺について何か課題等があったでしょうか。どうでしたか。特段問題なかったですかね。まあ小学校は言うこと聞くんでしょ比較的。中学校となると出て歩くんでしょ、どうでしょう。

広尾中学校松橋校長

〉前回の休校期間中にお昼を食べに行った先生が、その店で生徒に会ったということがありまして、それについては個別にちゃんとやっていこうかという話をしていました。

町長

〉みんなで固まって遊んでどっか行ったとかって報告はないですか。

広尾中学校松橋校長

〉そういう報告は受けていないです。

町長

〉そうですか。

教育長

〉他の委員さん何か意見はありますか。（各委員「ありません」）

〉特に校長先生方、これだけは言っておきたいとかそういうことはないですか。（各校長「ありません」）

〉またですね、来週通知が来ると思います。分散登校のやり方等々、またお集まりいただくことになるかもしれませんのでよろしくお願ひしたいと思います。校長会議に限ってですね委員さんについてはこれで意思決定を議決されましたのでありがとうございました。

〉それではもし何もなければこの会議を閉めたいと思いますけどよろしいですか。

大森委員

〉ちょっと最後に、小学生は非常にきちっと状況判断をして、自分達でも感染予防に気をつけなければいけないという状況があらわれていたということが教育委員会から分散登校の確認の際に報告があったんですけど、そういう姿が見えて良かったということなんですけど、ただし実際にはお友達とじゃれ合ってる部分が気になったという報告がありました。実際に現場での写真も見せていただいたので、ああやっぱりそうだろうなという難しい部分があったのかなと思ったんですけど、そういうところも含めてちょっと心配があるなと思いますの

でよろしくお願ひしたいなと思ひます。あと毎日の生活のリズムをどういふふうにしてもらつたらいいのかといふのが悩むところだと思ふので、そのところがきちつと普段からできているところはそれほど乱れはないのかなと思つておひります。そのところが皆さん非常に悩みの種だと思ひますのでいかにしてそこをきちつとやつてもらふかといふのを保護者の方に上手に伝えていただければと思ひます。

教育長

＞ それでは以上で令和2年度第1回総合教育会議を終了させていただきます。お疲れ様でした(15:48)

この議事録は、令和2年4月17日に開催の広尾町総合教育会議の確定に基づいて作成した。
(当日の議案は別紙のとおり)

広尾町長 村 瀬 優

教育長 菅 原 康 博

(令和2年4月22日調製)

広尾町教育委員会管理課